

教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	村瀬 健太郎
連絡先メールアドレス	k-murase@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	准教授
所属	看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科
略歴	<p>明治鍼灸大学 鍼灸学部 鍼灸学科卒業（平成6年3月）</p> <p>明治鍼灸大学 鍼灸学部研究生修了（平成7年3月）</p> <p>明治鍼灸大学大学院 鍼灸学研究科 博士前期課程修了（平成9年3月）</p> <p>明治鍼灸大学大学院 鍼灸学研究科 博士後期課程修了（平成12年3月）</p> <p>鹿児島鍼灸専門学校 専任教員（平成12年4月～令和8年3月）</p> <p>久木田学園看護専門学校 看護学科 非常勤講師（平成16年～令和5年）</p> <p>九州看護福祉大学 看護福祉学部 鍼灸スポーツ学科 准教授</p>
取得学位	博士（鍼灸学） 修士（鍼灸学） 学士（鍼灸学）
担当科目	はりきゅう理論Ⅰ、生理学Ⅱ・Ⅲ、解剖学Ⅰ・Ⅱ、はり基礎実習Ⅰ・Ⅱ、鍼灸臨床センター実習Ⅰ・Ⅱ、研究方法論、社会鍼灸学演習
専門分野	鍼灸学、生理学、疼痛、鎮痛、神経生理学
所属学会	公益社団法人 全日本鍼灸学会
現在の研究テーマ	<p>鍼灸における鎮痛効果について</p> <p>鍼灸刺激が痛覚閾値に及ぼす影響について</p> <p>鍼灸が生体に与える反応について</p>
教育研究業績 (著書・学術論文等)	<p>1. Diffuse Noxious Inhibitory Controls in Anti-Nociception Produced by Acupuncture and Moxibustion on Trigeminal Caudalis Neurons in Rats. <u><i>Kentaro Murase</i></u> and Kenji Kawakita. J J Physiol 50(1)_p133-140 2000.</p> <p>2. Intracranial self-stimulation and stimulation produced analgesia of the nucleus submedius in awake rats. <u><i>K. Murase</i></u>, E. Sumiya, K. Okada, K. Kobayashi and K. Kawakita PAIN RESEARCH 12(2) p93-p98 1997.</p> <p>3. Effects of electrical stimulation of thalamic nucleus submedius and periaqueductal gray on the visceral nociceptive responses of spinal dorsal horn neurons in the rat. K. Okada, <u><i>K. Murase</i></u> and K. Kawakita. Brain Res. 834(1-2) p112-121 1999.</p> <p>4. Role of nucleus submedius in the endogenous pain inhibitory mechanisms of the rat. E. Sumiya, <u><i>K. Murase</i></u>, K. Okada and K. Kawakita PAIN RESEARCH 12(1) p21-p26 1997.</p> <p>5. Response characteristics of nucleus submedius neurons to colo-rectal distension in the rat. K. Kawakita, E. Sumiya, <u><i>K. Murase</i></u> and K. Okada Neurosci Res 28(1) p59-66 1997.</p> <p>6. Effects of electroacupuncture on the arterial stiffness in stroke patients. Eisuke IWAMOTO, <u><i>Kentaro MURASE</i></u>, Machiko TANINOKUCHI, Nozomi MOTOISHI. Journal of the Japan Society of</p>

- Acupuncture and Moxibustion.8 p18-27 2012.
7. Effects of combining electroacupuncture with conventional care for the treatment of pressure ulcers. Eisuke IWAMOTO. Kentaro MURASE, Machiko TANINOKUCHI, Nozomi MOTOISHI. Journal of the Japan Society of Acupuncture and Moxibustion.9(1) p13-21 2013.
8. 視床内側下核における脳内自己刺激と刺激誘発鎮痛の関連 村瀬健太郎, 角谷英治, 岡田 薫, 川喜田健司, 小林和子. 明治鍼灸医学 第 20 号 p 37-50 1997.
9. Microneurography の方法と鍼灸研究への応用 大島稔, 村瀬健太郎, 岡田薫, 川喜田健司 明治鍼灸医学 第 14 号 p45-p56 1994.
10. ヒト屈曲反射を指標にした熱刺激効果の検討 伊藤和憲, 村瀬健太郎, 岡田 薫, 川喜田健司 全日本鍼灸学会雑誌 48(1) p1-9 1998.
11. 屈曲反射を指標とした刺激部位と刺激強度による抑制効果の違いの検討伊藤和憲, 村瀬健太郎, 岡田 薫, 川喜田健司 全日本鍼灸学会雑誌 48(1) p10-p16 1998.
- 12.鍼刺激による内臓体性反射の抑制効果に対する視床内側下核の関与 角谷英治, 村瀬健太郎, 鶴浩幸, 星伴路, 北小路博司, 川喜田健司 明治鍼灸医学 第 24 号 p1-15 1999.
13. 血管弾性に鍼刺激が及ぼす影響 手三里穴・足三里穴・中腕穴と無刺激の比較 岩元 英輔, 村瀬 健太郎, 谷之口 真知子, 本石 希美. 全日本鍼灸学会雑誌 60(1) p54-63 2010.
14. 鍼通電療法が脳卒中患者の血管弾性に与える影響 岩元英輔、村瀬健太郎、谷之口真知子、本石希美. 全日本鍼灸学会雑誌 62(3) p216-225 2012.
15. 褥瘡における通常治療・ケアと鍼通電療法の併用効果 -局所鍼通電療法と遠隔鍼通電療法の比較- 岩元 英輔, 村瀬 健太郎, 谷之口 真知子, 本石希美. 全日本鍼灸学会雑誌 63(3) p176-185 2013.
16. ヒト屈曲反射を痛みの指標とした鍼刺激の影響 田嶋弘典, 冨師修, 川田将吾, 金行なるよ, 黒木朋恵, 村瀬健太郎 東洋療法学校協会学会誌 24 p84-89 2000.
17. 月経周期における圧痛の変化と月経痛に対する灸刺激の効果 金行なるよ, 黒木朋恵, 田嶋弘典, 冨師修, 川田将吾, 山岡敬忠, 天野興, 村瀬健太郎. 東洋療法学校協会学会誌 25 p63-70 2001.
18. 鍍鍼が末梢神経活動電位に及ぼす影響 天野興, 大野功, 井口浩二, 村瀬健太郎, 中園義孝 東洋療法学校協会学会誌 26 p87-94 2002.
19. 鍍鍼を用いた接触刺激による Aβ線維の反応 崎山和隆, 山田拓母, 平石陽子, 天野興, 大野功, 村瀬健太郎 東洋療法学校協会学会誌 27 p87-94 2003.

20. 鍼刺激が深部痛覚閾値におよぼす影響-部位および手技の違いについて-宮崎慎也, 友寄詠子, 奥裕一, 村瀬健太郎 東洋療法学校協会 28 p50-53 2004.
21. 灸頭鍼が腰部深部痛覚閾値に及ぼす影響 友寄詠子, 郡山真梨, 江並芙美子, 川元廣行, 扇山健治, 小柳紘子, 村瀬健太郎 東洋療法学校協会学会誌 29 p82-86 2005.
22. 肩こりが顎関節に及ぼす影響—僧帽筋圧痛部への鍼治療と開口距離について— 池田奈津香, 高村卓, 月野木幹憲, 蒲池鎮弘, 田畑浩, 宮元将隆, 森永文子, 伊藤紗世, 浅井福太郎, 中園義孝, 村瀬健太郎 東洋療法学校協会学会誌 31 p39-42 2007.
23. 下肢の鍼刺激による柔軟性の変化～膝裏の高さを指標にして～ 飯川幸弘, 高村卓, 池田奈津香, 田畑浩, 宮元将隆, 岩川博文, 内村里恵, 原田健一郎, 浅井福太郎, 伊藤紗世, 中園義孝, 村瀬健太郎 東洋療法学校協会学会誌 32 p41-44 2008.
24. 腸腰筋への鍼刺激が肌に及ぼす影響～水分量を指標にして 高村卓, 池田奈津香, 飯川幸弘, 田畑浩, 宮元将隆, 岩川博文, 内村里恵, 原田健一郎, 浅井紗世, 浅井福太郎, 中園義孝, 村瀬健太郎 東洋療法学校協会学会誌 32 p158-161 2008.
25. 肩こりにおける柔軟性の変化—肩甲骨の動きを指標にして— 内村里恵, 岩川博文, 原田健一郎, 松尾卓, 池田奈津香, 村瀬健太郎, 伊藤沙世, 浅井福太郎 東洋療法学校協会学会誌 33 p222-227 2009.
26. 呼吸機能に対する鍼刺激の影響 原田健一郎, 松尾卓, 内村里恵, 岩川博文, 浅井紗世, 浅井福太郎, 村瀬健太郎 東洋療法学校協会学会誌 34 p216-221 2009.
27. 腰部における圧痛点の好発部位について 村田孝之, 中満勝彦, 原田健一郎, 村瀬健太郎, 浅井紗世 東洋療法学校協会学会誌 34 p22-28 2010.
28. 腰痛と日常生活の関連に対するアンケート調査 中満勝彦, 村田孝之, 浅井紗世, 村瀬健太郎 東洋療法学校協会学会誌 34 p180-184 2010.
29. 現代人の便秘, 下痢症状に対する東洋医学的考察 大田光明, 甲斐琴巳, 川添さやか, 諏訪園章子, 村瀬健太郎 東洋療法学校協会学会誌 35 p153-159 2011.
30. 肩こりに対するマッサージにおけるエッセンシャルオイルの効果について 東亜砂子, 佐久川梓, 村瀬健太郎 東洋療法学校協会学会誌 36 p178-183 2012.
31. 円皮鍼と偽鍼を用いた握力の筋出力について 奥村健志, 村瀬健太郎 東洋療法学校協会学会誌 37 p139-142 2013.
32. 紫雲膏の施灸前塗布, 施灸後塗布による灸痕の長さの比較 白水裕子, 奥村健志, 市来朱音, 瀬戸宏明, 早水愛里美, 濱上裕基, 村瀬健太郎 東洋療法学校協会学会誌 38 p112-115 2014.

	<p>33. 百会穴の鍼通電刺激が学生のストレス緩和に及ぼす影響 奥村健志, 市來朱音, 瀬戸宏明, 白水裕子, 鶴輝彦, 早水愛里美, 濱上裕基, <u>村瀬健太郎</u> 東洋療法学校協会学会誌 38 p123-127 2014.</p> <p>34. エゴグラムと五臓スコアの関係について 濱上裕基, 奥村健志, 瀬戸宏明, 白水裕子, 迫田修市, 白石智美, 内山幸祐, <u>村瀬健太郎</u> 東洋療法学校協会学会誌 39 p62-66 2015.</p> <p>35. 慢性化したアトピー性皮膚炎に対する鍼灸アプローチ 白石智美, 内山幸祐, 濱上裕基, 白水裕子, <u>村瀬健太郎</u> 東洋療法学校協会学会誌 40 p89-92 2016.</p> <p>36. 鍼灸学生の勉強面におけるストレスと POMS (気分プロフィール検査) との関係について 佐伯育子, 白石智美, 内山幸祐, 森大樹, 中村愛美, 橋本康平, 川口寛高, <u>村瀬健太郎</u> 東洋療法学校協会学会誌 41 p123-128 2017.</p>
<p>社会活動・社会貢献</p>	<p>(公社) 全日本鍼灸学会 九州支部 企画調整委員 (平成 23 年)</p> <p>(公社) 全日本鍼灸学会 学術委員 (現在に至る)</p> <p>(公社) 全日本鍼灸学会 第 27 回 九州支部学術集会 実行委員長</p> <p>(公社) 全日本鍼灸学会 認定鍼灸師 (現在に至る)</p> <p>(公社) 全日本鍼灸学会 諮問委員 (現在に至る)</p> <p>(公社) 全日本鍼灸学会 第 30 回 九州支部学術集会 実行委員長</p> <p>鹿児島県鍼灸マッサージ師会 平成 23 年度学術講習会</p> <p>鹿児島県鍼灸マッサージ師会 令和 4 年度学術講習会</p>